

千年の歴史に触れた。  
新しい自分を見つけた。



# haruka no Sue ハルカの陶すえ

奈緒 平山浩行 村上淳 / 笹野高史

村上真希 長谷川景 岡田健太郎 勝又諒平 小椋成子 八木景子

監督・脚本：末次成人 音楽：佐藤礼央 主題歌：「スポーツニクスの夜明け」サボテン高水春葉 原作 作：ディスク・ふらい / 画：西崎春正「ハルカの陶」(芳文社)

エグゼクティブプロデューサー：末次総理子 プロデューサー：小田宮貴男 地域プロデューサー：阿部信行 / 内田敏彦 アフタースタッフプロデューサー：森田英次 / 竹野孝代

撮影監督：Yohji Taniuchi 照明：渡辺隆之 録音：根本真由 (JSA) 美術：サカイジュンスケ スタylist：中島エリカ ヘアメイク：新井はるか 監製：長井智樹 ラインプロデューサー：武田徹也

制作主任：堀口貴之 / 大貫義生 スチール：中川正子 製作：山崎新視社 / 阿部グループ / 備前市原海山ブランド推進協議会 with ICM / BSK 山崎放送株式会社 / 岡山放送株式会社 / ニューマーク株式会社

制作プロダクション：ニューマーク 後援：備前市 / 岡山県 配給：ロードメディアスタジオ ©2019「ハルカの陶」製作委員会



土と炎と想いが作り上げた日本遺産・備前焼。陶芸の美しさに魅せられた人々の、夢と伝統を紡ぐ感動の物語。



# 第13回岡山〈芸術文化賞功労賞〉を受賞した 感動の同名コミックが空前の陶芸ブームに乗って、 待望の実写映画化！

週刊漫画 TIMES (芳文社) にて連載され、第13回岡山〈芸術文化賞功労賞〉を受賞した同名コミックを待望の実写映画化。主人公の小山はるか(奈緒)を演じるのは、本作が映画初主演となる奈緒。昨年放送されたNHK連続テレビ小説「半分、青い。」での菜生役、「あなたの番です」の尾野ちゃん役をはじめ、映画・テレビドラマで活躍中の彼女が、東京でのOL人生を一変させ備前焼作りという夢に向かって奮闘する姿、誰もが応援したくなるようなキラキラした魅力で演じている。そのほか『本能寺ホテル』『昼顔』の平山浩行、『男はつらいよ』『釣りバカ日誌』シリーズの笹野高史、『母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った。』『空母いぶき』の村上淳など、実力派俳優が脇を固める。重要無形文化財保持者や備前焼陶友会による全面協力のもと、本物の窯を使った迫力ある窯焚きの映像を織り交ぜながら備前焼の魅力と、その土地に生きる人々の夢と情熱を描く。



このまま日々を淡々と過ごしていくんだと思ってた。あの太皿に出会うまで。  
岡山県備前市を舞台に土と炎、そして人が織り成す感動の物語。

小山はるか(奈緒)はOLとして平凡な日々を過ごしていたある日、デパートの展示でふと目にした太皿に強く惹かれ備前焼を知った。仕事でも休日でも気付けば備前焼のことがばかり考えていたはるかは、言葉にできない感動を胸に岡山県備前市へ。意気揚々と太皿の作者を訪ねるも、目の前に現れたのは頑固でぶっきらぼう、職人気質な修(平山浩行)だった。しかし、ただ一人でロクロに向かう修を見て備前焼への興味はより強くなり……。勢いのままに弟子入りを志願するも相手にしてもらえないはるかだったが、見兼ねた人間国宝の陶人(笹野高史)が間を取り持ち“修行見習い”の日々がスタートする。陶芸にただ一人向き合い、はるかにも厳しい修だったが、そんな彼には亡き父との約束があった――。

## 備前焼とは

岡山県備前市周辺を産地とする焼締陶(やきしめとう)。釉薬などを一切使用せず、松割木で焼かれ、絵付けもしない素朴さで自然美を楽しむことができる。



出演：奈緒 平山浩行 村上淳 / 笹野高史  
監督・脚本・編集：末次成人 音楽：佐藤礼央 主題歌：「スプートニクの夜明け」サボテン高水春菜  
原作 作：ディスク・ふらい / 画：西崎泰正「ハルカの陶」(芳文社) 制作プロダクション：ニューマーク 後援：備前市 / 岡山県 ©2019「ハルカの陶」製作委員会  
119分 / 一般G / シネマスコープ



イオンシネマ岡山

086-235-0139

10.25 (金)  
岡山県先行公開

[www.harukano-sue.com](http://www.harukano-sue.com)

f / harukanosue t @bizeneiga i bizen\_film\_project